

2021年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（前期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（ 地域科学 ） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ ）
出題の意図	<p>問1 本設問は、地域社会学分野から2問、社会生態学分野から2問、人文地理学分野から2問を出題しており、各分野の基礎概念を用いて専門的な議論を行う能力や、専門的な知識を現実問題に応用する能力を見る。</p> <p>問2 本設問は、社会生態学、地域社会学、人文地理学、地誌学などに関する基礎的な専門用語の理解度を確かめ、さらに指定された文字数で専門的な見地から明確に記述する能力を見る。</p>

2021年度
北海道大学大学院文學院修士課程入学試験問題（前期）
（専門試験） 地域科学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 1枚、解答用紙 4枚を配付する。

問1は、小問1問につき解答用紙1枚を使用すること。問2は、小問5問で解答用紙2枚を使用すること。なお、選択した小問の番号を解答用紙に記すこと。また、各問では図を用いて説明を行ってもよい。

問1 下記の設問から2つを選択して解答せよ。

1. 人文地理学で従来から行われている都市の内部構造変容に関する研究を、災害研究に結びつけるとしたら、どのような研究が考えられるか具体的に説明せよ。また、それによって都市の内部構造変容に関する研究に、どのような新しい知見を加えることができるか考えを述べよ。
2. 環境ガバナンスと知（knowledge）とのあいだにはどのような関係があるか、暗黙知と形式知の説明をしたうえで、考えるところを述べよ。
3. 生物多様性を効果的に保全するためには、数多い種の中でどのようなタイプの種の保全に配慮すべきか、論述せよ。
4. 社会調査をめぐって、「仮説を作ってから調査すべき」という意見と「仮説を作らないで調査を始めるべき」という意見がある。このことについてどう考えるか、論述せよ。
5. 北海道における第二次産業の特色を述べよ。
6. 野生生物の保全を目的とした保護区をデザインする場合、どのような点に配慮する必要があるか、論述せよ。

問2 次の用語から5つを選択し、専門的な見地からそれぞれ200字程度で説明せよ。

- | | |
|--|-----------------------------------|
| 1. ナラティブ | 9. 分配的正義と手続き的正義 |
| 2. 島嶼生物地理学モデル | 10. Exclusive Economic Zone (EEZ) |
| 3. Blakiston's Line | 11. 指標種 |
| 4. 栄養段階 | 12. 斜面崩壊と地すべり |
| 5. 関係人口 | 13. 社会学的想像力 |
| 6. サードプレイス | 14. 内水氾濫 |
| 7. Catch per Unit Effort (CPUE) | 15. 特定鳥獣保護管理計画 |
| 8. トゥアン (Tuan, Yi-Fu) のトポフィリア (topophilia) | |